

# 平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立太田小学校
校長氏名	田窪佳寿子
作成日	平成30年2月19日

## 1 教育目標

豊かな心を持ち、自ら考え、正しく生きぬく子どもを育成する。

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で自分の考えを進んで伝えることができた。(子ども80%)</li> <li>・県学習到達度検査で 四分位のC・D層を40%以内にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の挨拶をした人数の割合(子ども95%)</li> <li>・掃除をがんばった割合(子ども95%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に運動を行うよう計画し、実践した割合(教師90%)</li> <li>・引渡し訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流を各学年2回以上実施する。</li> <li>・学校の様子がよくわかる割合(保護者90%)</li> </ul>
重点目標 【P】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを伝え、仲間とともに学びを深め合う授業の推進</li> <li>・太田タイムの充実</li> <li>・基礎・基本の確かな定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの心をもって、お互いの長所を生かし、励まし合って行動できる子どもの育成</li> <li>・力を合わせ、みんなのために働く子どもの育成</li> <li>・読書活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上の推進</li> <li>・保健指導の充実(体の成長・姿勢・歯磨き・アレルギー等)</li> <li>・危機回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの積極的な情報発信</li> <li>・家庭・地域との連携充実</li> <li>・地域の資源活用の推進</li> </ul>
取組の状況 【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びになるよう研修(視察や講師招聘)を積む</li> <li>・太田タイムの火・金に【表現】(短作文・語彙・話し合い等)の時間を設定する。</li> <li>・家庭学習の充実を図り、基礎的な力を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の子活動(縦割り活動)を通して、人間関係や仲間意識、規範意識等の向上を図る。</li> <li>・あいさつ運動の活性化を図る。</li> <li>・黙々そうじの励行。</li> <li>・朝の読書タイムや読み聞かせ、めざせ1万ページ等の活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の子活動の実施や県チャレンジランキングに参加したりして体力の向上を図る。</li> <li>・保健指導を通して、自分の健康は自分で守ろうとする意識を育てる。</li> <li>・避難訓練や交通安全教室を計画的に行い危機回避能力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより、学年だより、学級だより、保健だよりなどを通して積極的に学校の情報を発信する。</li> <li>・授業や行事等を積極的に公開するとともに地域との交流を図る。</li> <li>・ゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。</li> </ul>
取組の成果と課題 【C】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合いのルール、思考の言葉、振り返りの視点を統一し、主体的・対話的な授業展開ができるよう取り組んでいる。自分の考えを進んで発表できたと思う子どもは、84%である。今後も学校教育全体で、意図的に自分の考えを伝え合わせ、金曜日の太田タイムでは、話し合い活動の充実に向け取り組んでいく。</li> <li>・県学習到達度検査において、5年生では四分位のC・D層は、国語・算数・理科において、ほぼ40%以内である。4年生は、国語44%、算数47%であり、特に算数科において基礎基本の徹底をより一層図っていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会や週番による各クラスのあいさつ運動が毎朝行われているが、誰にでも進んであいさつできる子どもの割合は83%であるが、あいさつスクラッチなど様々な工夫を凝らしているため、今後も継続し、学校のみならず、地域であいさつできる子どもを育成する。</li> <li>・読書好きな児童は83%、掃除を一生懸命している児童は94%である。</li> <li>・縦割りの風の子活動は、豊かな心の育成の一役を担っている。</li> <li>・言葉の重みを意識したり、規範意識の向上を図る等、家庭と連携しながらより充実させていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄跳び台を2台作成し、苦手な児童も挑戦できるようにした。また風の子活動、みんな遊び、休憩時間に外遊びを促すことで、元気に活動する子どもが多い。教師の評価は85%で、さらに組織的に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・全校で歯科衛生士によるブラッシング指導を行った。養護教諭が身体測定時に、睡眠や風邪予防の保健指導を実施している。</li> <li>・日曜参観に初めて引き渡し訓練を実施した。今後は地域と学校が連携した防災訓練を実施していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ、生活科や総合的な学習の時間の授業、ふれあい給食、クラブ活動(5つのクラブにのべ8人)等、PTAや地域の方々に協力いただき、各学年2回以上地域の方々と交流することができた。</li> <li>・学校の学校便りの表面は、教育方針や今大切にしたいことや行事を、裏面は、学校での活動の様子を掲載した。しかしその活動の様子をHPに掲載し、更新することができなかったため、保護者の割合は85%となっている。</li> <li>・回覧板等で地域の方に協力依頼しているが、参加していただける数が少ない。</li> </ul>
改善方法 【A】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合いにより、思考が深まるよう、一人一人が大切にされる学級づくり及び授業づくりを行う。</li> <li>・基礎基本の徹底を図り、自ら学び、課題を解決していく力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な体験活動の中で、道徳的实践力を育む。</li> <li>・子どもたちの規範意識の醸成・向上をめざし、学校と家庭の連携・協働を進める取組を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・う歯の治療率を上げるよう保護者に協力願う。</li> <li>・健康に関する便りや掲示物の充実を図る。また、子どもたちが月目標(保健委員会実施)を守るよう学級で取り組んでいく。</li> <li>・様々な防災訓練を実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信のみならず、行事等の機会をとらえHPを更新していく。また、PTA活動を広報する枠を設け、発信できるようにする。</li> <li>・コミュニティ・スクールを立ち上げ、地域との連携をより深める機会とする。</li> </ul>

## 3 その他の課題

・北校舎3階4年生の床を校務員や担任が修繕しているものの、微妙な段差が何か所もでき、床の全面改修に向け、教育施設課に今後強く要望していく。

・家庭科室・理科室の整備を行う。

・校舎内外の整備(伐採、ペンキ塗りや修繕等)を計画的に行っていく必要がある。